



2025
奨励賞

寺村葬儀社(株式会社テラムラ)

業務内容 葬祭業 創業 1900年 従業員数 46名
所在地 香美市土佐山田町西本町2-2-20

社員にとって身近な勤怠管理からデジタル化への不安を解消。葬祭業の新しい在り方

創業以来、香美市と高知市を中心に地域に寄り添った葬儀サービスを提供してきました。深夜、休日問わずの迅速な対応が必要とされる課題に対し、勤務時間を見える化する「勤怠管理システム」や、全国の葬祭業界からみても先進的なシステムである「注文管理システム」を導入することで人員不足の解消と事務負担軽減を実現しました。



中岡さん
経理課 課長

岡本さん
総務課・社長室 課長

お話を聞いたのは

Q 御社のデジタル化の取組内容について教えてください。



2023年に社員全員が効果を実感しやすい「勤怠管理システム」からデジタル化に着手をしました。このシステムの導入を機に「デジタル化は役に立つ」という意識が芽生え、2024年にはオンライン供花サービス、供物の注文や請求管理、ホームページ刷新などに拡大していきました。小さな改善から始まった挑戦が、今では社員の軽減負担はもちろん顧客利便性にまで繋がり、継続的なデジタル化推進へと発展しています。

Q 抱えていた課題と、デジタル化に取り組んだきっかけを教えてください。

葬祭業という業界は24時間の対応が求められている一方で、限られた人員で膨大な事務作業や準備業務を担う必要があります。勤務管理においては担当者が毎月約54時間かけてシフト管理を行っており、事務作業の長時間化が長年の課題でした。その結果、月に数件の手書きや転記による入力ミス、請求漏れなど人の手によるエラーも表面化していたため、対策を講じたのがきっかけです。



Q デジタル化に成功した秘訣を教えてください。

もともと社長は前進的な考えで、全国の葬儀社から見ても早い段階から業界特化型のソフトウェアや、香典立替サービスを導入していました。先行的な取り組みを基盤に、社員の声を取り入れつつ、全員が効果を実感しやすい勤怠管理業務のデジタル化に着手することで、メリットを体感しながら、抵抗感を薄くすることができました。今では81歳の社員も活用しています。こうした取り組みが、デジタル化を組織に浸透させることができた理由だと考えています。



デジタル化導入までの期間とプロセス

- 2022年初旬よりシステム導入検討
同年8月にシステム発注、12月より1ヶ月間試運転、翌年1月～実稼働

導入にあたっての人材確保 (ITベンダー含む)

- 社内の職員が対応

導入したITツール

- 給与奉行クラウド
- 奉行edge 勤怠管理クラウド

支援機関、補助金等の活用の有無

- 高知県産業振興センター
- 香美市商工会
- 高知県デジタル技術活用促進事業費補助金

受賞にあたって

これから社員とお客様に対して、一番最善の形でデジタル化を進めていきます。葬儀は、地域性が色濃く残っている面もあります。すべてをデジタルに置き換えるのではなく、昔からのシステムと併用し、上手に活用していきたいです。

これからデジタル化に取り組みたい事業者様へ

私自身も当社でデジタル化、DX化できるのかというのは、あまりピンときていない部分が多かったですが、人員や時間の課題やお客様の利用できるサービスの拡充の面から見たときに、一歩踏み出してよかったなと思っています。社員の声を聞き、自分が利用者になったときの視点を持って、小さなところからでもデジタル化を始めてみてください。



代表取締役
寺村 勉氏